

プロトコール名	1クールの日数	放射線治療
胃癌ラムシルマブ・パクリタキセル併用療法	28日	■なし □あり

投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)
d1, d15	<ul style="list-style-type: none"> ① 生食50mL+デキサート13.2mg+ガスター20mg レスタミン錠10mg 5錠内服 (①の点滴開始と同時に) ② 生食100mL ③ サイラムザ 8mg/kg+生食250mL 0.22μmのフィルターを用いて投与する。 調製後13時間以内に投与終了。 希釈後の濃度は0.4~4mg/mLとする。 2回目以降は30分に短縮可能。 ④ 生食50mL(フラッシュ用) ⑤ パクリタキセル 80mg/m²+ブドウ糖250mL インラインフィルターを用いて投与する。 ⑥ 生食50mL(フラッシュ用)
d8	<ul style="list-style-type: none"> ① 生食50mL+デキサート13.2mg+ガスター20mg レスタミン錠10mg 5錠内服 (①の点滴開始と同時に) ② 生食100mL ③ パクリタキセル 80mg/m²+ブドウ糖250mL インラインフィルターを用いて投与する。 ④ 生食50mL(フラッシュ用)

コメント	<p>Rp.1の生食点滴開始と同時にレスタミン錠10mg 5錠内服。</p> <p>サイラムザ:グレード3または4のinfusion reactionが現れた場合には本剤の投与を直ちに中止し、再投与しないこと。グレード1または2のinfusion reactionがあらわれた場合には、投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与すること。</p>
------	---

プロトコールに関する解説
<p>プロトコールに関する解説はありません。</p>